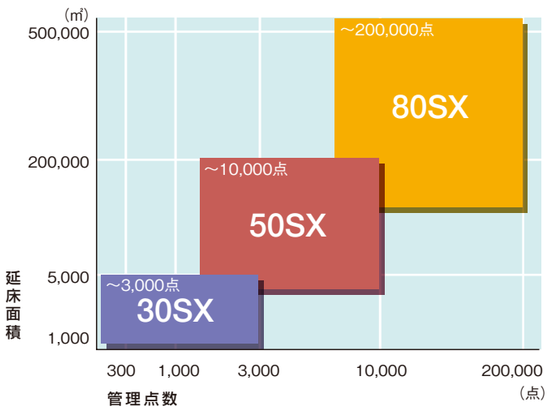
Butics-SXシリーズの適用範囲



主な仕様

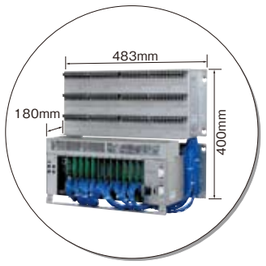
	30SX	50SX	80SX
最大管理点数	3,000点	10,000点	200,000点
システム構成例	クライアント/サーバ兼用	クライアント/サーバ型	クライアント/サーバ型
クライアント	WWWブラウザ	WWWブラウザ	WWWブラウザ

	名称	仕様
処理装置	サーバ・クライアント	32、64ビットCPU
出力装置	ディスプレイ	19型LCD以上 256色表示、1,280×1,024ドット
	メッセージプリンタ ロギングプリンタ	ドットインパクトマトリックス方式 レーザビーム乾式電子写真方式
伝達速度	グローバルデータウェイ	10Mbps/100Mbps

ハードウェア概要

集合型RSハードウェア

● 外観



● Lタイプ外観（ユニット4台実装）

● ハードウェア仕様

電源	AC100V/200V、 DC110V
構成	CPU、I/Oユニット4台（I/O 12枚実装） 端子パネル4台、電源パネル1台
最大管理点数	576点
I/Oメニュー	DOII4、DO8 DI12（SI12） AI6（4～20mA、0～100mV、0～1mA）（Pt100Ω、Ni508） AO4、RC8、RO2

分散型RSハードウェア

● 外観

● ハードウェア仕様

電源	AC100V/200V
構成	CPU、I/O一体
最大管理点数	―
I/Oメニュー	OII2、DO8 DI12（SI12） AI4（4～20mA、0～100mV）（Pt100Ω） AO4、RC8

IT、で、エコ NEC。 はじめよう。

人と地球にやさしい情報社会のために。
NECグループはCO₂排出量の削減に貢献する製品・ソリューションを提供します。
http://www.nec.co.jp/environment/

⚠安全に関するご注意 ★本製品の設置・接続・使用に際しましては、取扱説明書などに記載されております注意事項や禁止事項をあらかじめ熟読のうえ、必ずお守りください。

人と地球にやさしい情報社会へ

お問い合わせは、下記へ

NEC 交通・公共ネットワーク事業部
ビルソリューション推進部

〒108-8001 東京都港区芝五丁目7-1（NEC本社ビル）
TEL：03(3798)1515 FAX：03(3798)9478

＊ Buticsは、NECの登録商標です。
＊ BACnet®はAmerican Society of Heating, Refrigerating and Air-Conditioning Engineers（ASHRAE）の登録商標です。
＊ Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国及びその他の国における登録商標です。
●本製品（ソフトウェアを含む）は国内仕様であり、当社では海外での保守サポートおよびサポートは行っておりません。
また、本製品のうち、外国為替及び外国貿易法の規定により輸出規制品に該当するものについては、日本国外に輸出する際、同法に基づき日本国政府の輸出許可が必要です。
●このカタログに記載された仕様、デザインなどは予告なく変更する場合があります。また、製品の色は印刷のため実際と若干異なることがあります。

日本電気株式会社 〒108-8001 東京都港区芝五丁目7-1（NEC本社ビル）
2013年10月現在
Cat.No.H05-13100248J

Empowered by Innovation NEC

ビルオートメーションシステム

Butics-SX

http://jpn.nec.com/builtotal/butics/

クラウド連携機能を実装し、創エネ・蓄エネ・省エネへの対応も強化した、人と地球にやさしいビルオートメーションシステム「Butics-SX」。

ビューティクス

従来のビルオートメーション領域からエネルギー管理領域へソリューションの拡大

エネルギークラウドと連携することで、ビッグデータに蓄積された気象情報、交通情報、災害情報、イベント情報といったさまざまなデータを節電あるいはビル内への情報提供などに活用することが可能となります。

単なる設備管理から、ビルと共に成長する運用ビル管理システムへ

「Butics-SX」は、建物内の空調や照明、電源設備の最適制御に加え、蓄電池や太陽光パネルも含めたエネルギー供給源の管理や消費電力量の見える化など、複数ビル群の統合的なエネルギー管理をクラウドサービスで実現します。
また、蓄積されたデータや気象情報等の環境情報を基にした電力需要予測や、それに基づく節電ガイダンスの提供、タブレット端末からの設備の制御機能など、さらなるサービスを提供していきます。

Butics-SXにより蓄積された情報をビル運営支援サービスに有効利用

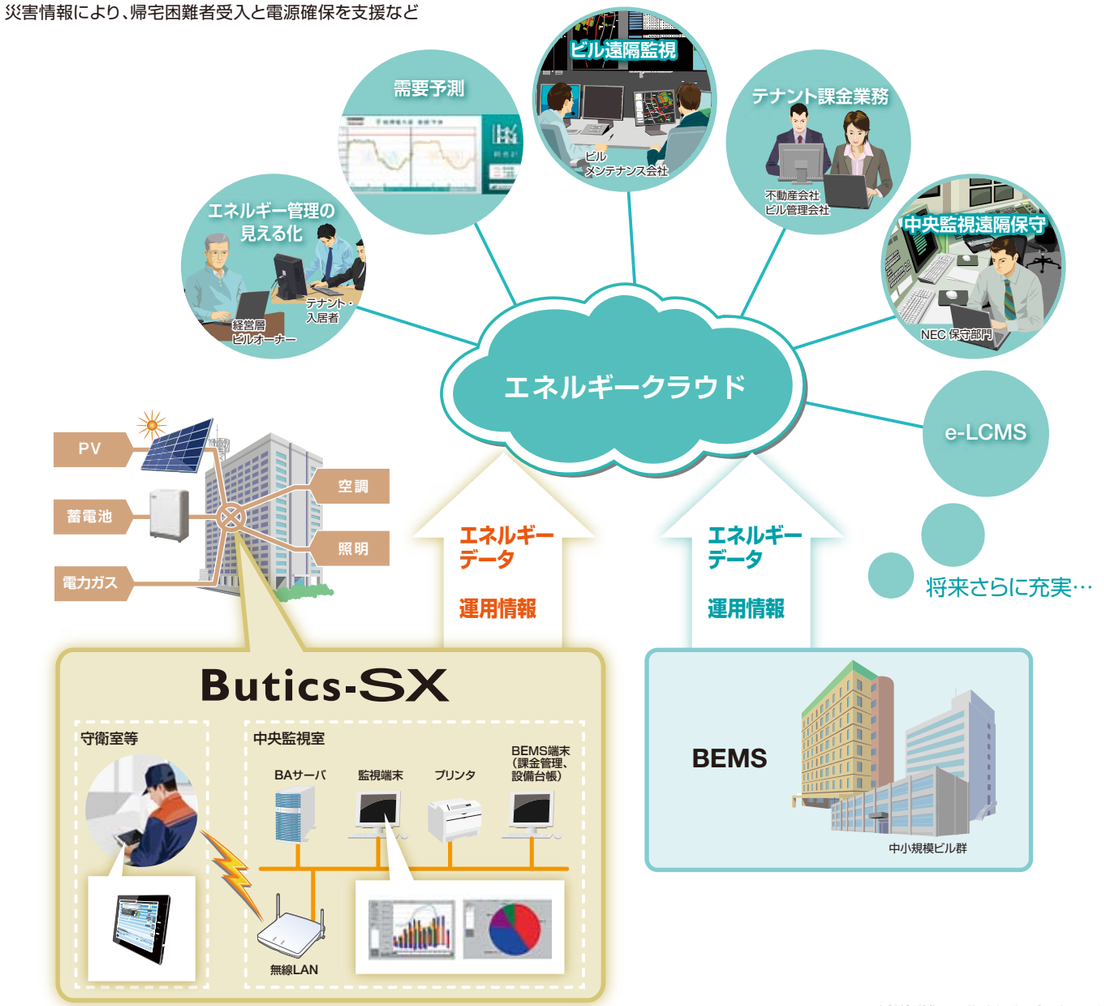
Butics-SXで収集するエネルギー使用量などのデータをエネルギークラウド上に収集・蓄積し、ビル運営に係わるさまざまな業務の支援サービスとしてご提供いたします。

ビッグデータを活用したビル向けのエネルギークラウドサービス

集積されたビッグデータをビルのエネルギー管理に活用するため、ビル向けのエネルギークラウドサービスを提供してゆきます。

エネルギークラウドと連携することで発生し得るメリット

- 気象情報により、明日の節電ガイダンスを提供
- 気象・交通情報により、ビル内への臨時情報を提供
- 災害情報により、帰宅困難者受入と電源確保を支援など



e-LCMS：建物ライフサイクルマネージメントシステム

次世代のビルオートメーションシステム（BA）のキーワードは「エネルギー管理&クラウドサービス」

エネルギー使用量の見える化

クラウドを利用（連携）したエネルギー使用量の見える化、ビル設備（空調・照明など）への節電ガイダンスを提供します。

画面構成の刷新

アイコン等を使用して画面構成を刷新しました。従来機種より操作・表示性能が一段とアップしています。

24時間365日安定運用

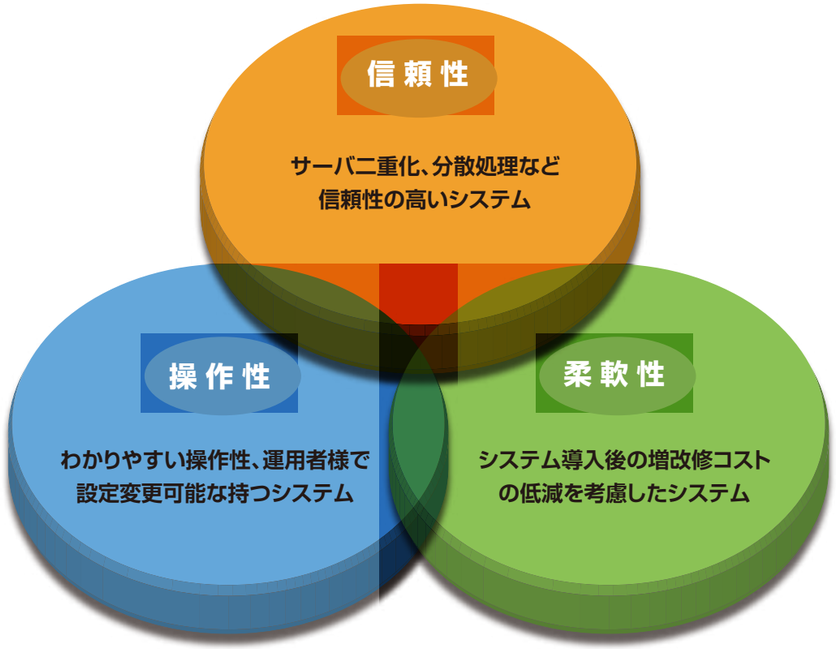
センター装置には信頼性・耐久性に優れたサーバを使用し、24時間365日安定運用を実現します。

システム信頼性の確保

サーバの冗長構成によりシステムの信頼性を確保しています。

どこにいても監視が可能

タブレット端末を利用して無線LANやインターネット経由で、どこにいても監視が可能。異常が発生した際には、タブレット端末で状況を確認しながら現場確認を行うことも可能です。



ディスプレイ表示画面

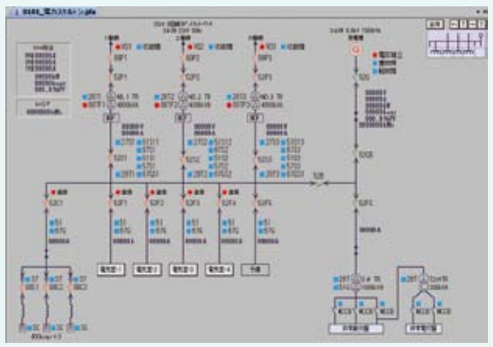
直感的な操作画面

従来のシステムのように文字だけのステータス・履歴表示ではなく、イメージしやすいアイコンを配置しました。直感的に操作可能なシステムです。

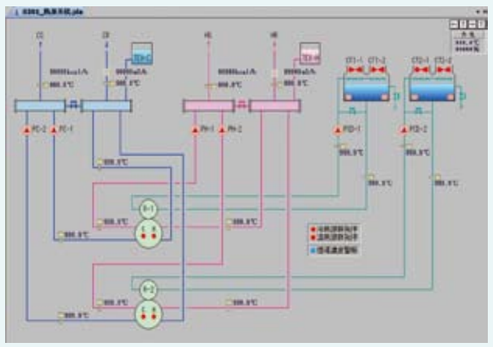
メイン画面

設備画面

電力スケルトン画面（イメージ）

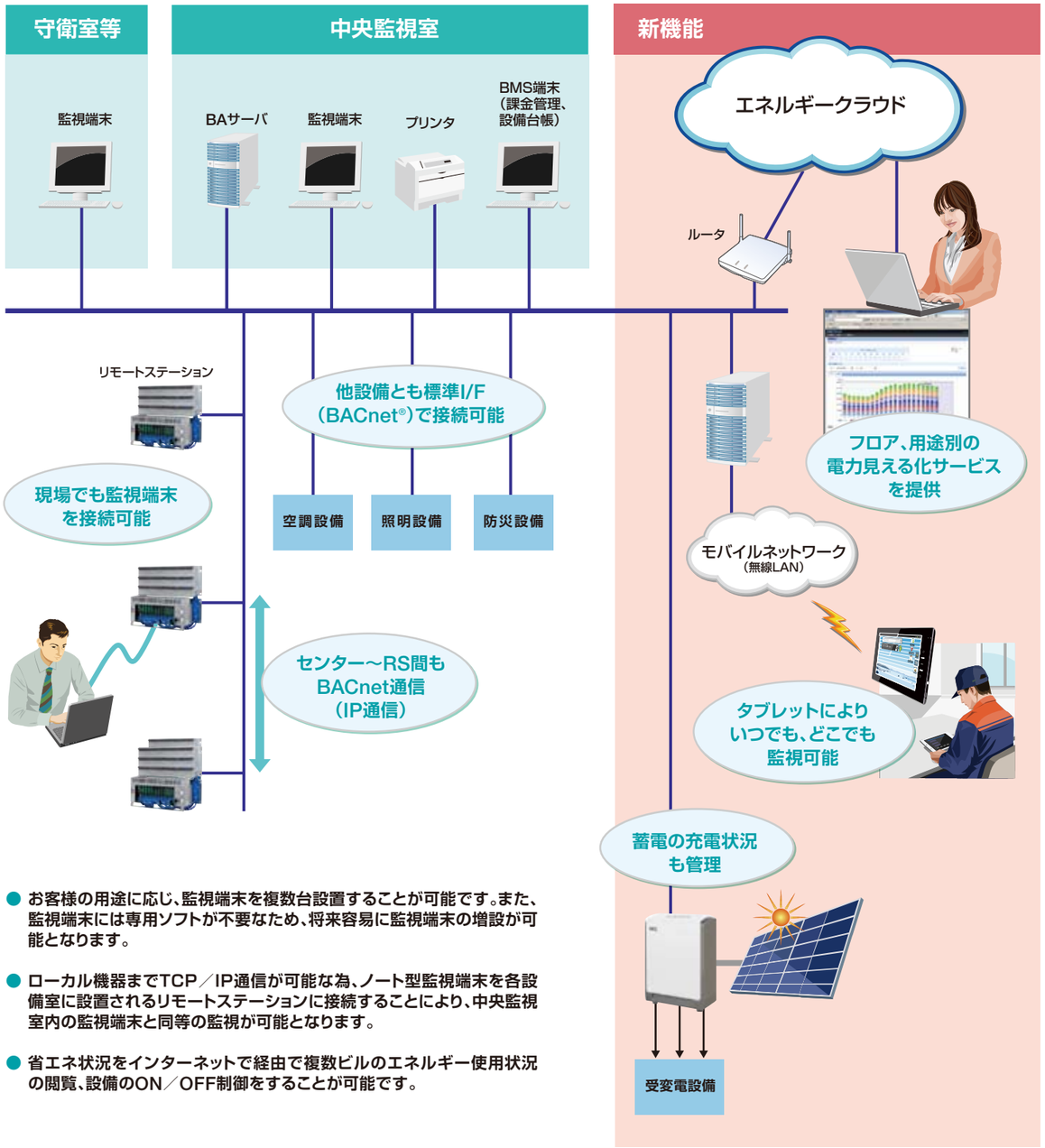


熱源系統図画面（イメージ）



お客様の要望・規模に合わせてシステムを構築

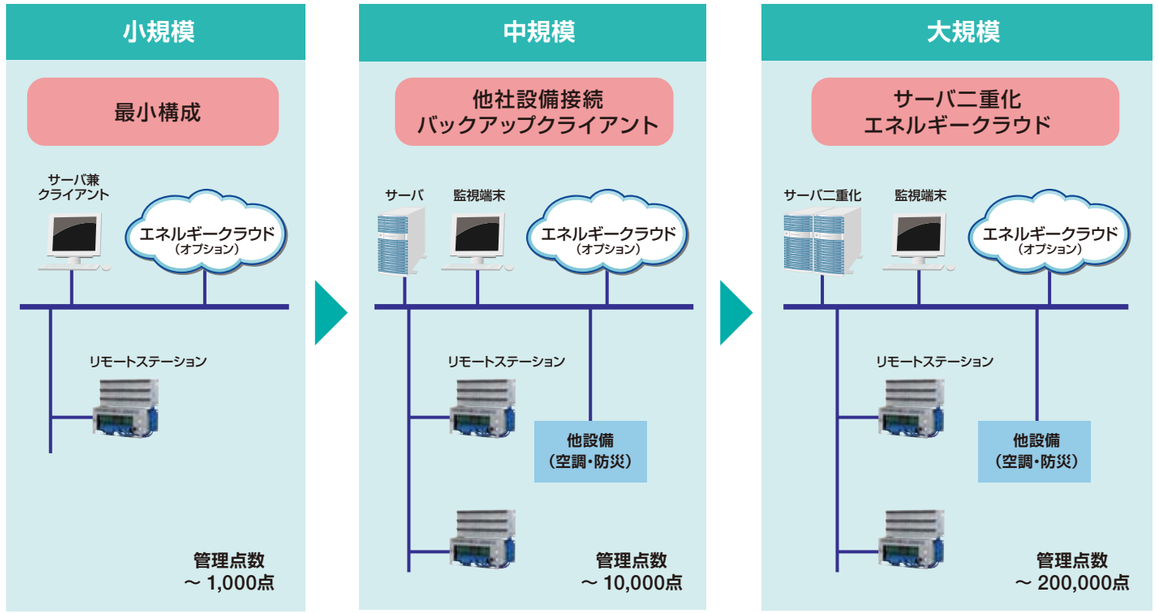
システム構成図



- お客様の用途に応じ、監視端末を複数台設置することが可能です。また、監視端末には専用ソフトが不要なため、将来容易に監視端末の増設が可能となります。
- ローカル機器までTCP／IP通信が可能な為、ノート型監視端末を各設備室に設置されるリモートステーションに接続することにより、中央監視室内の監視端末と同等の監視が可能となります。
- 省エネ状況をインターネットで経由で複数ビルのエネルギー使用状況の閲覧、設備のON／OFF制御をすることが可能です。

多様なニーズに即した柔軟なシステム構成と拡張性

ビルの規模に合わせたシステムを構築



- コスト・運用・可用性等ユーザーニーズに合わせたシステム構成を用意しております。